

# 心にゆたかに

発行 株式会社天峰建設 袋井市横井 115-3  
TEL0538-43-6773 FAX0538-43-7250  
ホームページ 天峰建設で検索を  
Eメール [tenpou@mail.wbs.ne.jp](mailto:tenpou@mail.wbs.ne.jp)

第120号 発行日平成27年11月1日

## 蘇る楼門

府八幡宮  
宮司 幡鎌繁様



幡鎌繁宮司（左側・弊社社長と共に）

当神社は、今から千参百年前に遠江國の国司桜井王が、遠江國の平安と繁栄を祈って国府舎内に鎮齋されました。

江戸時代寛永十二年には御社殿が立派に建て替えられ、殊に御本殿は二代將軍秀忠公の御息女（後の東福門院）により寄進されました。しかしながら安政の地震により楼門以外の建物は倒壊しました。その楼門は昭和三十年に県指定文化財となり、五十八年にはお屋根が柿葺き

に復元され、遠江國鎮護の神、中泉の八幡様のシンボルとして、氏子崇敬者に守られ、美しい姿を保ってまいりました。ところが平成二十三年九月に当地を襲った台風十五号に依りお屋根が損傷。翌年偶然に来社された京都伝統建築研究所の持田武夫先生により、お屋根だけでは無く本体も三百八十年の経年により、軸部・組物等は仕口・組手の弛緩随所で進行し、一部は不等沈下や部材の腐食破損もみられ、全解体修理の時期が来ている事が判明致しました。

私共は、木造建築は参百五十年から四百年の間に一度全解体し締め直して長く維持している事を初めて知る事ができました。

持田先生はご指導の元、県・市と協議し、半年に亘り役員会で検討し、総代会の賛同を得て今回の工事を行うことを決定致しました。併せて御鎮座千参百年記念事業として、神輿の式百年ぶりの全解体修理、参道工事を含めた境内整備を行う「平成の大修復工事」を行なうべく計画を致しました。

二十五年八月に奉賛会を結成し、会長を磐田商工会議所の伊藤卓治会頭様にお願いしました。残念ながら伊藤様には二十六年一月に逝去され、失意の念を抱いておりました処、高木昭三会頭様に会長を引き受けて頂けました。

今回の奉賛会のお願いには、大変厳しい

部分もありましたが、氏子崇敬者・各法人様には大変厚いご協力を賜り感謝申し上げます。

工事は昨年三月より解体修理を開始。九月には礎石のみとなり、本年九月にはおかげ様で無事完成の運びとなりました。建物は落ち着いた色に、お屋根は輝かんばかりの金色となり、氏子の皆さんの喜びの中、今年の例大祭を迎える事ができました。（門の中の隨身像は来年の九月に完成の予定です。）更に今後も工事を進めてまいります。平成の御代に蘇る「楼門」。そして「府八幡宮」氏子崇敬者の皆様の心の結集が今八幡様の力となります。



完成した楼門

## 正光寺様完成 お披露目式

まだ夏の暑さがのこる九月二〇日に浜松市東区豊町の正光寺様（松尾正澄住職・臨濟宗方広寺派）では本堂・諸堂完成のお披露目がおこなわれました。平成二五年九月に契約をし、平成二六年一月に解体法要、地鎮式を平成二六年三月に行われまし。本堂の上棟式は平成二六年四月二六日に行い、今年の九月にすべての工事が完成いたしました。



当日は檀家の皆様に弊社社長の澤元教哲より建物の説明をさせていただきました。その後お披露目式を行いました。終了後は弊社提供の焼きそばと焼き鳥をいただ

きながら、大道芸を楽しみました。檀家の皆様も新しい本堂を大変喜んでいただき、今後は本堂はじめ書院も活用していただけると思っています。



新しい本堂は九・二五間×六・五間で側柱を低くすることで重心を抑え、地震の揺れに強い構造で視覚的にも落ち着いた雰囲気になっております。また屋根のラインは柔らかな照り起くりの銅版葺きにし、軒反りも京都の禅宗寺院を想わせる上品できれいな線がでています。工事中は正光寺様には大変お世話になりありがとうございました。これからも長いお付き合いをよろしくお願いいたします。

## 光珠寺様山門の上棟

浜松市西区白羽町の光珠寺様（木宮邦彦住職・臨濟宗妙心寺派）では山門の上棟式を九月二八日に行いました。

駐車場から参道の入口に作られ、間口は一間半の九尺でケヤキの丸柱の薬医門になります。上棟式は住職の読経が響く中、檀家総代さんの次に大工と順次焼香をして上棟を祝うと同時に工事の無事を祈りました。檀家の皆様には工事中ご不便をおかけしますが、十一月の完成を目指して工事を進めております。



## 「終活」

日本テンプルヴァン(株)井上拓郎

### 「終活」

今年も余すところ、一カ月少しとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？本年最後の寄稿となりますが、今回は「終活」についてお話ししたいと思います。このところ色々なところで「終活」という言葉を見聞するようになりました。昔は「しゅうかつ」と言うと、就職活動の意味でしたが、ここ数年は「終活」のほうが身近なワードになってきたような気がします。ところでこの終活という言葉ですが、意味は「自分の亡くなった後の事を、事前に自身で整理や準備する為の活動のこと」ですが、昔はこのような事は少なかったと思います。地域の名士や資産家が残された遺族がもめないよう、遺言などで事前に準備をすることはありましたが、一般の家庭では無かった事だと思います。時代背景も違うので一概に言えませんが、最近の終活をする方々の理由としては、「残された遺族に苦勞を掛けたくない」、「自分の理想の葬儀をしてもらいたい」などが挙げられます。しかし一番の要因は、各家族化などにより、親

子の縁が希薄化してきたことだと思えます。自分の葬儀や死後の事をどの様にしたいかなどは、直接家族と向き合っ

て相談し決める事だと思えます。

終活セミナー(終活勉強会)などを、葬儀社や石材会社、司法書士や税理士、最近では旅行会社なども企画しておこなっておりませんが、当然営利企業がおこなう営業の為のセミナーです。これらの企業が主動でおこなうのは、将来の「見込み客」となるからです。一部のお寺さんでも外部から講師を招いて、お寺さん主動でおこなっているところもあります。皆様のご寺院でもお檀家さんやご信者さん向けに終活セミナーを開いてみてはいかがでしょうかでしょうか？その際は是非ご家族全員で参加していただき、それぞれの家族で、もう一度「死」に対して考える機会を提供してはいかがでしょうか？それこそがご寺院の役割であり、参加者にとつての本当の意味での「終活」になると思えます。

### 「エンディング産業」

「終活」についてのセミナーをおこなっている業種は、先に挙げた葬儀や埋葬、供養に関連するサービスを提供している会社になりますが、これらの業種を一堂

に集めた展示会が平成二十七年一月八日〜一〇日まで、東京ビッグサイトで開催されます。

出展企業は、葬儀社、仏壇仏具屋、石材会社、返礼品会社、僧侶派遣業者、お寺のコンサル会社、花屋、霊柩車やハイヤー・バス手配会社、寺院向け檀家管理ソフト開発会社、遺品整理業者、生命保険会社、信託会社、寺院など、二〇〇社程度出店し、関連する取引先(葬祭サービス従事者、霊園管理者、墓石・仏壇販売会社、寺院・神社の関係者・総代、自治体など)に商品の提案やサービスの紹介、販売・契約をおこなうことを目的としています。葬儀や埋葬、終活などに関連する商品やサービスの提供をおこなう会社が、これほど多く集まるのは、そこにビジネスのチャンスがあると思います、また新しく参入する会社があるからです。二〇三〇年ごろまで死亡者人口は統計学的に増えませんが、葬儀を取り巻く環境もそれに伴い、競争が激化していきます。

当然ですが、宗教活動は宗教法人に唯一許された行為以外ほかなりませんが、葬送儀礼を取り巻く環境は大きく変わる可能性があります。



## 知って得する 重曹・クエン酸・セスキ炭酸

今年もあと少しで終わりに近づいてきました。十二月に入れば家の中の掃除が気になりますね。今回は重曹・クエン酸・セスキ炭酸ソーダを使った掃除を紹介します。これらは化学洗剤よりも肌に優しく、年末の大掃除だけでなく普段の掃除にも使えます。

まずは重曹からですが、重曹はアルカリ性で油污れや手垢などに効果的で消臭作用があり、シンク、お風呂場、洗面台の掃除に適しています。二百五十ccのぬるま湯に重曹大さじ一杯を溶かし重曹水を作り、キッチン周りの油污れや、シンクの手垢汚れにシュッシュとして拭きあげるだけでピカピカになります。また電子レンジや魚焼きグリルの中も汚れがちで洗剤を使いたくないですが、この重曹水なら安心して使えると思います。換気扇まわりなどの油污れのひどいところには重曹ペーストがおすすめです。適当な容器に重曹三・水一位の割合で溶かし、塗ってしばらくしてから水で流します。とても重宝な重曹ですがアルミ製品には使えませ

ん。

つぎはクエン酸ですが、クエン酸はアルカリ性の汚れを中和して落としてくれます。アルカリ性の汚れとは水垢・トイレの黄ばみ・お風呂場の白く固まった汚れなどです。水二百五十ccにクエン酸小さじ二を溶かして作ったクエン酸水は、まな板や三角コーナーの除菌、テーブルや床の拭き掃除など普段の生活で使えます。トイレの壁や床にクエン酸スプレーをして拭けば汚れやにおいも取ることができ

ます。便器の尿石にはキッチンペーパーを貼付け、濃いめのクエン酸をたっぷりかけて一晩放置すると汚れが剥がれやすくなります。また窓の掃除もクエン酸スプレーをかけて拭くといいです。クエン酸もとても重宝だとおもいますが、塩素系の洗剤とは絶対混ぜてはいけません。また鉄・大理石に使うと錆の原因になります。

また重曹とクエン酸を組み合わせて使うと効果的です。たとえばお風呂の場合皮脂や汗が溶け出したお湯は「酸性」な

で重曹を、洗い場の石鹸かすなどは「アルカリ性」なのでクエン酸が効果的です。最後にセスキ炭酸ソーダを紹介します。

重曹よりアルカリが一〇倍強く、汚れを落とす力が強いものです。水五〇ccに小さじ一杯を溶かして基本的には重曹と同じようなところに使いますが、すりガラスやクロス張りの壁のたばこのヤニや汚れ、そしてコンセント周りの手垢汚れに効果があります。コンセント周りはキッチンペーパーを貼ってそこにセスキ炭酸ソーダ水をスプレーして拭きとり仕上げに乾拭きします。セスキ炭酸ソーダは濃くしすぎると家具などの塗料が剥がれることがあるのでご注意ください。また無垢のフローリング・畳・繊維素材のカーペットは変色するので使用ができません。ワイシャツの襟、そで口にスプレーして五分後に洗濯するときにきれいになります。これらのものはホームセンターや百円ショップでも売っているので、お手軽にお買い求めができます。大掃除だけでなく常の掃除でも使うといいですね。